

海外新着情報（4月更新）

海外新着情報では、神奈川県との協力による海外駐在員との連携の中で得た「海外での企業活動の現状に関する情報」をご案内します。

○ 中国

- ・中国製ワクチン接種者の訪中ビザ申請手続きの簡素化 ～ 大連市 ～
(2021年3月24日)

複数の在外中国大使館は3月15日、新型コロナウイルスの中国製ワクチン接種者の訪中ビザ申請手続きを簡素化すると発表しました。例として、中国で生産されたワクチンを接種済みで、かつワクチン接種証明を所持している場合、操業や生産再開に必要な分野の活動に従事する人員とその家族の訪中について、新型コロナ流行以前に求められていた資料を準備し、提出・申請すればよいとされました。

○ 東南アジア地域

- ・隔離期間を10日間へ短縮 ～ タイ・バンコク ～
(2021年3月26日)

タイ政府は、4月1日から変異株の感染者が確認されていない国・地域からタイへの入国者の隔離期間を、14日間から10日間に短縮する方針を固めました。変異株の感染者が確認されている国・地域については、引き続き14日の隔離が義務付けられます。

また、昨年3月から発令されている非常事態宣言の期限について、3月31日から5月31日まで延長することも決定しました。

- ・コロナ禍での出勤制限の緩和、ワクチン接種も進行 ～ シンガポール ～
(2021年3月26日)

3月24日、シンガポール保健省はそれまで60歳以上に限定していたワクチン接種を42歳から59歳までに拡大すると発表しました。

また、4月5日からは50%以下に制限していたオフィス出勤率を75%までに拡大すると発表しました。

・ワクチンパスポートの導入の検討に入る ～ ベトナム ～

(2021年3月26日)

3月17日、ベトナムのフック首相は、ワクチンを接種した人に対する渡航や移動の制限を緩和するため、新型コロナウイルスのワクチンを接種したことを証明する「ワクチンパスポート」を導入する方向で検討に入ったことを発表しました。

○ 北米地域情報

・米国ニューヨーク州が州外からの移動規制を緩和

～ 米国・ニューヨーク ～ (2021年3月17日)

米国ニューヨーク州政府は、州外からの移動者への自主隔離規制を4月1日から撤廃すると発表しました。この措置は、米国内の移動のみが対象で、海外からニューヨーク州への渡航者に対しては引き続き隔離措置が適用されます。

米国内の各州政府は、これまで移動制限を課してきましたが、ワクチン接種が進んでいることなどからニューヨーク州政府以外でも規制を撤廃する動きが出始めています。